

北斗だより

令和6年度 第12号
(3月1日発行)
愛媛県立今治北高等学校

人生の節目

3年学年主任 山本 隆祥

花のつぼみの膨らみにも春の訪れが感じられる時節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜りますこと、心よりお礼申し上げます。

この度、卒業を迎えられる保護者の皆様におかれましては、立派に成長されたお子様の晴れの門出を心よりお祝い申し上げます。3年間の高校生活の間、ご家庭での体調管理、精神的サポートなどさまざまなご支援をしていただき、心より感謝申し上げます。お子様方の心の中も保護者の方々への感謝の気持ちでいっぱいであるかと思えます。

さて、卒業という特別な出来事は、よく人生の節目と言われます。その節目でよく登場するのが、竹です。竹は、昔から縁起の良い植物とされ、お正月の門松など、めでたい場面でよく見かけます。すくすくと伸びる竹。その竹の中で早いものでは一日にどれくらい成長するのでしょうか。およそ1m位だそうです。なぜ、こんなに伸びるのでしょうか。その秘密は、竹の「節」にあるようです。

竹には、いくつもの「節」があり、そのひとつひとつの「節」に竹を成長させる「力」があるとのこと。さらに、竹には、このほかにも秘密があります。それは、どんなに強い風に押し倒されても折れることなく、また起き上がって成長を続けるということです。竹よりもはるかに太い幹の大木や硬いセメントで作られた電柱が、嵐で倒されたとしても、そのとなりで高く伸びた竹は、折れることなく立っているのです。このように、しなやかに曲がって元に戻ることができるのも、「節」のおかげだそうです。竹は、この「節」を作りながらたくましくしなやかに成長しますが、実は、皆さんも毎日の生活や人生において、「節」を作っているのです。

人生の節目とは、辞書によると「人生の流れを変える、もしくは流れの変わる大きな転機。その後の人生を変えるに至る出来事や年齢の一区切りなどを指す表現。」だそうです。具体的には、出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職等の、思い出に残る特別な日のことを指します。

さあ、皆さんは、この「節」の話をどう思いますか。卒業生はまさに人生の「節」を作る時。これまで北高で過ごした3年間を礎に、大人としての第一歩を踏み出すのです。高校1・2年生は、いずれ訪れる卒業という立派な「節」を作るために、主体力・実行力・課題発見力・計画力・創造力・発信力・傾聴力・柔軟力・状況把握力・規律力・ストレスコントロール力といった、大人として必要と思われる「人間力」を付ける時なのです。そのためには、自分のやりたくないことから逃げるのではなく、真っ向から挑戦する心で、高校生活を過ごしてほしいと願っています。

これからも、今治北高校が魅力ある学校に成長できるように、頑張っていきましょう。

※お気付きの点や、御意見・御質問などありましたら、下に記入の上、お子さんを通じて担任まで御提出ください。

今治北高校の日々の様子をホームページに掲載しています。「今北日記」「生徒の活動」「部活動」など、ぜひ御覧ください。

今治北高等学校 学校公式サイト <https://imabarikita-h.esnet.ed.jp>

----- 切り取り -----

____年 ____組 名前_____